

龍崎氏(新支部)動労千葉へ復帰!

日刊 動労千葉

79.12.8

No295

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
 (鉄電)三五八・九・公衆電話(22)七二〇七

12.16 新小岩支部集会成功にむけて
 本部役員をまる!

二月七日、新小岩支部は、動労「本部」反動分子小山某以下四名の集会破壊策動を一蹴し、講習室において七〇余名の組合員の参加をえて職場集会を開催しました。集会は、第一に動労熊本大会以降「本部」側組合員として行動していた竜崎氏が、自らの行動を反省し誤まりを正し今後動労千葉組合員として共に闘うという決意を全参加者の前で明らかにし、これを全体で確認しました。第二に、第三回動労千葉定期大会を成功させるべく、職場の意見をより多く反映させるものとして主に組合財政、転勤希望解消問題等の質問、意見が出され活発な討論が行われ、集会は成功裡のうちに終わりました。

こうして新小岩支部は、竜崎氏の動労千葉への復帰を実現させ、組織体制の強化をかちとり、動労千葉第三回定期大会成功へむけ奮闘しています。全支部で、この新小岩支部の闘いを教訓化し、「本部」反動集団の組織破壊策動を粉碎し、大会成功へむけてより一層の職場討議をまき起そう。

竜崎氏復帰により展望を喪失した「本部」反動集団

この間、「本部」反動集団は「数億の組合費と三万人を超える」"オルグ"を投入したにもかかわらず、ならん成果をあげることができず、唯一「全国大会に七名が参加した」ことと「千葉事務所を開設」したことを「成果」としてスガリつき、自らの破産を隠蔽し、「千葉地本の再建は近い」等とゴマカシをもって組合員の批判をかかわっていました。しかし今回の新小岩支部集会の場で竜崎氏が動労千葉復帰を宣言したことは、「本部」反動集団による「千葉再建」策動が破産していることによりもの実証であります。

団結を強固に更に前進しよう

竜崎氏の動労千葉復帰は、新小岩支部執行部を先頭にした組合員のねばり強い闘いの成果であり動労千葉の闘う路線の正しさゆえにかちとられたものであります。われわれはこのことに自信と確信を深め、更に団結を強固にし前進しよう。そして「本部」反動分子の妨害・敵対をはねのけ、第三回定期大会を圧倒的に成功させよう。すべての組合員は定期大会に結集せよ!

戸村委員長と共に
 勝利の80年へ!

12.16

三里塚へ



〔写真〕「遺訓を守り、燃料を断ち、必ず勝利する」関川委員長が追悼のことば。(11・11集会)

役職名	氏名	年令	支部	職名
執行委員長	関川 幸	53	成田	検査係
副執行委員長	西森 巖	40	千 転	電運士
書記長	中野 洋	39	千 転	電運士
執行委員	布施字一	37	勝 浦	電運士
	水野正美	42	新小岩	機関士
	関 豊	41	千葉転	電運士
	山口敏雄	42	幕 張	検査係
	林 熊吉	43	津田沼	電運士
	吉岡正明	36	津田沼	電運士
	高橋邦彦	34	"	電運士
会計監査員	加藤禎久	36	館 山	電運士
	伊藤吉郎	53	幕 張	"
	高石正博	34	津田沼	"

一九七九年度動労千葉本部役員をまる!
 動労千葉選挙委員会は、二月三日、一九七九年度動労千葉本部役員について、無投票当選を確認し次の通り告示しました。